

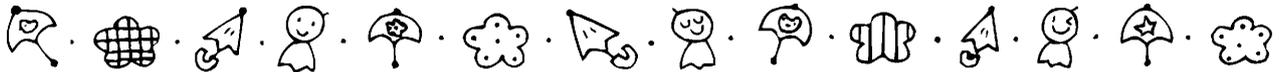


ぞうぐみだより

2021年6月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

じめじめとした季節になりましたが、雨上がりの空気は爽やかで、とても心地よく感じます。ぞう組の子どもたちは、雨があがると空を見上げながら、『晴れた！晴れた！』と叫びながら、テラスでジャンプをして喜んでいます。子どもたちが大好きな水あそびができる夏も、この儀式？で少し早く来てくれるかもしれませんね。

湿度や気温の変化で、体調を崩しやすい季節となります。休息や水分を充分に取りながら、梅雨時期にしかできないあそびを、思いきり楽しめるようにしていきたいと思います。



生活の様子

『順番だよ』とか『廊下は歩くんだよ』とか、友だち間で互いに声を掛け合うことが、多くなりました。先生に声をかけられたことを友だちにも知らせて、『みんなで、かっこいいぞう組になろう！』と、気をつけているようです。いろんな先生達から『かっこ良く待ってたから、きりん組かと思ったよ!?』と褒められると『違うよ、ぞう組だよ😊』と照れつつも嬉しそうにしています。

あそびの様子

5月中旬から雨の日が多かったせいもあり、広告紙あそびがブームになりました。紙面の食べ物で、ままごとあそびが始まります。化粧品を見つけると、プリキュアのメイクあそびに広がります。そして、一番多いのが、クルクルと巻いて長さや細さを究めることです。男の子は実用的で数が多いこと、女の子はリボンやハートをつけて、数よりオシャレ度が高いことがポイントのようです。

